

目次

基本的な操作

文字板の表示

モードを切り替える

各モードの概略

リゅうずを使う

針と日付の動き方について

充電する(ソーラー充電)

スマートフォンと接続する

時刻合わせ

スマートフォンに接続して時刻を合わせる

標準電波で時刻を合わせる

概要

受信に適した場所

標準電波の受信範囲

自動で標準電波を受信する

手で標準電波を受信する

受信のご注意

前回の時刻合わせ結果を確認する

病院内、飛行機内で使うとき

スマートフォンと一緒に使う (モバイルリンク機能)

接続

時計とスマートフォンを接続する

時計とスマートフォンの接続を解除する

病院内、飛行機内で使うとき

ペアリングを解除する

スマートフォンを買い替えたとき

ワールドタイムを設定する

針や日付の位置を補正する

スマートフォンを探す(携帯電話探索機能)

時計の各種機能を設定する

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

時計の充電量を確認する

時刻合わせ(手動)

ホーム都市のタイムゾーンを設定する

時刻や日付を設定する

サマータイムを設定する(ホーム都市)

デュアルタイム

タイムゾーンを設定する

サマータイムを設定する(デュアルタイム)

ホーム都市の時刻とデュアルタイムを入れ替える

ストップウォッチ

計測する

針や日付の補正

針や日付の位置を補正する

海外に渡航するときは

補足

都市(タイムゾーン)一覧

対応機種

仕様一覧

モバイルリンク機能に関する注意事項

無線に関するご注意

商標、登録商標について

困ったときは

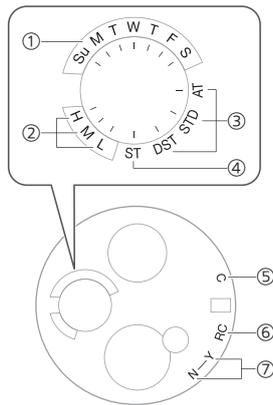
基本的な操作

時計の概要を説明します。

参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

文字板の表示

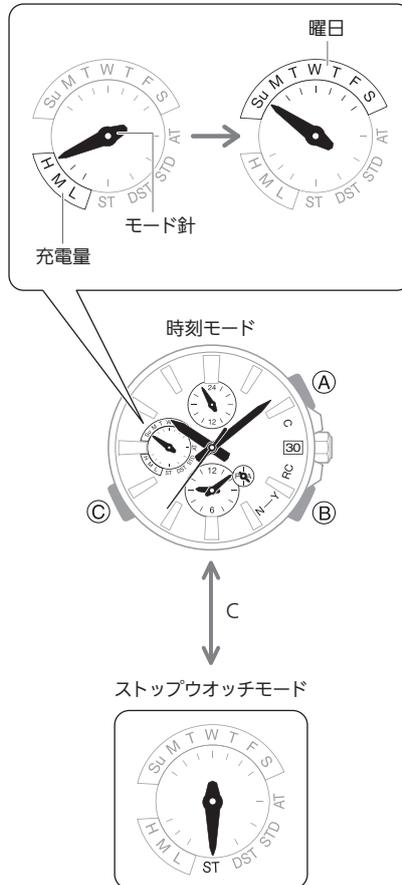


- 曜日
時刻モードのとき、モード針がホーム都市の曜日を示します。
- バッテリー残量
時刻モードに切り替えたとき、モード針が充電量を示します。
- サマータイムの設定
サマータイムの設定をモード針が示します。
- [ST]
ストップウォッチモードのとき、モード針が[ST]を示します。
- [C]
スマートフォンと接続中に秒針が示します。
- [RC]
標準電波を受信中に秒針が示します。
- 前回の受信結果
秒針が前回の受信結果を示します。
[Y(YES)] : 標準電波を受信またはスマートフォンに接続して時刻を合わせた
[N(NO)] : 標準電波を受信またはスマートフォンとの接続による時刻合わせに失敗した

モードを切り替える

C ボタンを押すごとに、時計のモードが切り替わります。

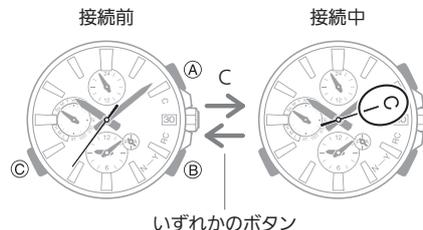
- どのモードからでも、C ボタンを約 2 秒間押し続けると、時刻モードになります。



●スマートフォンと接続する

C ボタンを約 4 秒間押し続けると、スマートフォンと接続します。

- いずれかのボタンを押すと、スマートフォンとの接続が解除されます。



各モードの概略

●時刻モード

時針、分針、秒針が現在時刻を示します。
小時計、小分針がデュアルタイムを示します。



- 現在地の時 (24 時間制)
24 時間で 1 周します。
- 現在地の曜日
- デュアルタイム時
- デュアルタイム分
- デュアルタイム時 (24 時間制)
針が A 側のときは午前、P 側のときは午後を示します。

前回の時刻合わせ結果を確認する

B ボタンを押します。

🕒 前回の時刻合わせ結果を確認する

スマートフォンと接続して時刻を合わせる

B ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。秒針が [Y/N] から [C] に移動したらすぐに指を離してください。

標準電波で時刻を合わせる

B ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。秒針が [C] から [RC] に移動したらすぐに指を離してください。

スマートフォンを探す

B ボタンを約 3.5 秒間押し続けます。秒針が [RC] から [C] に移動したらすぐに指を離してください。

現在地の時刻/デュアルタイムの入れ替え

A ボタンを約 3 秒間押し続けます。

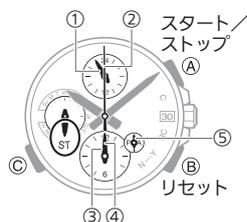
充電量を確認する

C ボタンを押して時刻モードに戻したときに、モード針で充電量を確認できます。

🕒 充電量を確認する

●ストップウォッチモード

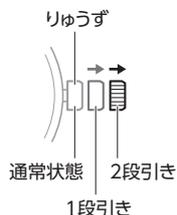
時針、分針が現在時刻を示します。
秒針、小分針、小時計がストップウォッチの計測値を示します。



- ① 現在地の時(24 時間制)
24 時間で 1 周します。
- ② ストップウォッチ秒
- ③ ストップウォッチ時
- ④ ストップウォッチ分
- ⑤ ストップウォッチ時(24 時間制)
針が A 側のときは計測値が 0~12 時間、
P 側のときは計測値が 12~24 時間を示
します。

りゅうずを使う

●早送り/早戻しする



重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けたときの損傷を防ぐため、操作が終わったら必ずりゅうずを元に戻してください。
- りゅうずを戻すときは、強く押し過ぎないようにご注意ください。

りゅうずを 1 段または 2 段引いた状態で素早く繰り返し回すと早送りまたは早戻しができます。早送り中に再度りゅうずを素早く繰り返し回すと、針の動きが速くなります。

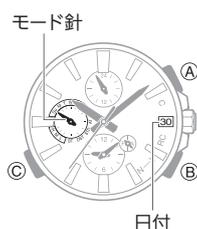
●早送り/早戻しを解除する

りゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押します。

参考

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

針と日付の動き方について



●モード針と日付の動きについて

この時計は、日付を変更すると、日付の動きに連動してモード針が回転します。

●日付について

- 午前 12 時(深夜 12 時)になると約 10 秒から約 40 秒かけて日付が変わります。このとき、日付の動きに合わせてモード針が回転します。
- りゅうずを引いた状態では日付が正しく表示されない場合があります。

充電する(ソーラー充電)

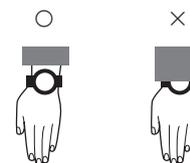
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

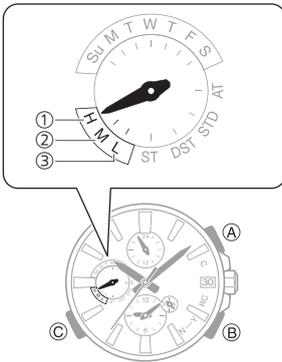


重要

- 充電時に、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯などの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

● 充電量を確認する

C ボタンを押して時刻モードに戻したときに、モード針が充電量を示します。しばらくすると、モード針は現在の曜日を示します。



- ① 良好(充電量 高)
- ② 良好(充電量 中)
- ③ 充電不足

● 充電不足や充電切れ

針の動きで、充電量が不足しているかどうかわかります。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。

重要

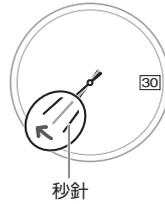
- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

参考

- 充電が切れた状態で光に当て続けると、秒針が反時計回りに動き、57 秒の位置で停止します。これは充電を開始したことを示します。

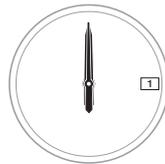
● 充電不足のとき

秒針が 2 秒ごとに動きます。



● 充電切れのとき

すべての針と日付が停止します。



● 充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

1 日、使用するために必要な充電時間

光量(ルクス)	充電時間
50,000	8 分
10,000	30 分
5,000	48 分
500	8 時間

充電量の回復に必要な時間

- 晴れた日の屋外など(50,000 ルクス)

充電切れ → 充電量:中	2 時間
充電量:中 → 充電量:高	18 時間
充電量:高 → 満充電	5 時間

- 晴れた日の窓際など(10,000 ルクス)

充電切れ → 充電量:中	6 時間
充電量:中 → 充電量:高	68 時間
充電量:高 → 満充電	19 時間

- 曇りの日の窓際など(5,000 ルクス)

充電切れ → 充電量:中	9 時間
充電量:中 → 充電量:高	110 時間
充電量:高 → 満充電	30 時間

- 蛍光灯下の室内など(500 ルクス)

充電切れ → 充電量:中	97 時間
充電量:中 → 充電量:高	—
充電量:高 → 満充電	—

参考

- 実際の充電時間は環境によって異なります。

● 節電(パワーセービング機能)

午後 10 時から午前 5 時 50 分の間に、時計を暗い場所に約 1 時間置いておくと秒針が停止し、レベル 1 の節電状態になります。この状態が 6~7 日続くと、すべての針が停止し、レベル 2 の節電状態になります。

レベル 1:

基本的な時計の機能は作動しています。

レベル 2:

日付のみが作動しています。

参考

- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。
- 節電状態になるのは、時刻モードのときです。

● 節電状態を解除する

いずれかのボタンを押す、りゅうずを操作する、または時計を明るい場所に置くと、節電状態は解除されます。

スマートフォンと接続する

時計をスマートフォンに接続するには、カシオオリジナルのアプリケーション「OCEANUS Connected」をスマートフォンにインストールして、スマートフォンとペアリングしてください。

● ① アプリケーションをインストールする

Google Play または App Store で、カシオオリジナルのアプリケーション「OCEANUS Connected」を検索して、スマートフォンにインストールしてください。

● ② Bluetooth を設定する

スマートフォンの Bluetooth 設定をオンにします。

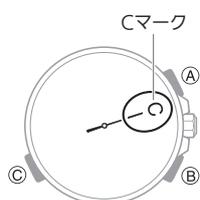
参考

- 設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

●③ ペアリングする

時計とスマートフォンを一緒に使うには、最初にペアリングする必要があります。

1. ペアリング相手のスマートフォンを、時計の近く(1m以内を推奨)に置きます。
2. スマートフォンのホーム画面で「OCEANUS Connected」アイコンをタップします。
3. スマートフォンの画面の指示に従って操作して、ペアリングします。
 - ペアリングの要求が表示される場合は、画面に従って操作してください。
 - ペアリングに失敗した場合は、手順1からやり直してください。



参考

- OCEANUS Connected を初めて起動したときに、位置情報の使用を許可するかどうかのメッセージがスマートフォンの画面に表示されます。位置情報をバックグラウンドでも使用できるように設定してください。

時刻合わせ

この時計は、電波を受信したり、スマートフォンと接続したりして日付や時刻を合わせることができます。

重要

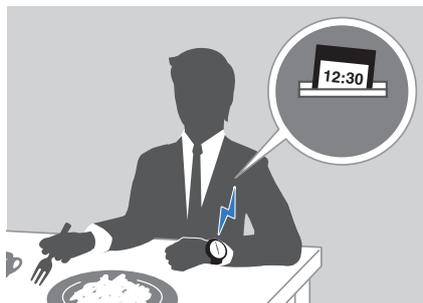
- 飛行機内など電波の受信を禁止または制限されている場所では、自動時刻合わせを無効にしてください。
 - OCEANUS Connected で設定する場合
 - 時計を操作して設定する場合

スマートフォンに接続して時刻を合わせる

毎日決まった時刻にスマートフォンと接続して、時計の時刻を自動で合わせます。

●使い方

この時計は1日に4回の時刻合わせがスケジュールされています。時刻モードにしておけば、(イラストのように)普段の生活の中で自動的に時刻を合わせるので、そのままお使いになれます。



重要

- 以下のような場合は、自動で時刻を合わせることができないことがあります。
 - スマートフォンと時計が離れた場所にある
 - 電波干渉などで通信できない
 - スマートフォンのシステム更新を実行している

参考

- スマートフォンと接続しても時計が正しい日時を示さない場合は、針や日付の位置を補正してください。
 - 針や日付の位置を補正する
- OCEANUS Connected でワールドタイム都市を設定している場合、ワールドタイムの時刻も自動で合います。
- 時刻合わせのタイミングは、午前12時半頃、午前6時半頃、午後12時半頃、午後6時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

●すぐに時刻を合わせたい

時計とスマートフォンを接続すると、時計の時刻を合わせることができます。今すぐ時計の時刻を合わせたいときは、以下の手順で時計とスマートフォンを接続します。

1. B ボタンを約0.5秒間押し続けます。秒針が[C]に移動したらすぐに指を離します。時計とスマートフォンが接続すると、秒針が[Y(YES)]に移動した後、時計の時刻が合います。
 - 時刻合わせが終わると、接続が終了します。



標準電波で時刻を合わせる

概要

標準電波を受信して、時計の時刻や日付を合わせることができます。

重要

- 電波を受信して正しい時刻を表示するには、ホーム都市のタイムゾーンを使用する地域に設定する必要があります。
- スマートフォンと接続してご利用の場合で、前日に一度もスマートフォンと接続して時刻合わせが行われなかったときは、標準電波を自動で受信して時計の時刻を合わせます。

参考

- 標準電波は、受信できる地域に限られています。標準電波を受信できない地域で使う場合は、スマートフォンと接続して時刻を合わせてください。
🕒 [標準電波の受信範囲](#)
- 標準電波を受信しても時計が正しい日時を示さない場合は、針や日付の位置を補正してください。
🕒 [OCEANUS Connected で補正する場合](#)
🕒 [時計を操作して補正する場合](#)

受信に適した場所

窓際で電波を受信できます。

- 時計の6時位置を窓に向けて置いてください。
- 金属は避けてください。
- 時計を動かさないでください。
- 時計を操作しないでください。



参考

- 以下の場所では、標準電波を受信しにくくなります。
 - ビルの中およびその周辺
 - 乗り物の中
 - 家庭電化製品、OA 機器、携帯電話などの近く
 - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
 - 高圧線の近く
 - 山間部、山の裏側

標準電波の受信範囲

● 日本(JJY)

日本の標準電波送信所は、福島県のおおたかどや山と福岡県/佐賀県のはがね山に位置します。
標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,000km 以内です。

● 中国(BPC)

中国の標準電波送信所は、中国河南省の商丘市に位置します。
標準電波の受信範囲は、商丘送信所を中心として約 1,500km 以内です。

● アメリカ(WWVB)

アメリカの標準電波送信所は、コロラド州フォートコリンズに位置します。
標準電波の受信範囲は、フォートコリンズ送信所を中心として約 3,000km 以内です。

● イギリス(MSF)/ドイツ(DCF77)

イギリスの標準電波送信所は、カンブリア州アンソーンに位置します。
ドイツの標準電波送信所は、フランクフルト南東のマインフリンゲンに位置します。
標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,500km 以内です。

参考

- 標準電波の受信範囲内でも地形、天候、時期(季節)、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。

自動で標準電波を受信する

午前 12 時(深夜 12 時)から午前 5 時の間に標準電波を受信して、自動で時刻や日付を合わせます。1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

準備

時刻モードにします。

🕒 [モードを切り替える](#)



窓際のような受信に適した場所に時計を置きます。

- 標準電波を受信中は、秒針が [RC] を示します。
- 受信に成功すると、自動的に時計の時刻と日付が合います。

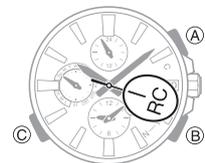
参考

- 受信には約 2 分から約 10 分かかります。最大で約 20 分かかる場合もあります。
- スマートフォンと接続して時刻を合わせた場合、接続した日と翌日は標準電波を自動受信しません。

手動で標準電波を受信する

1. 窓際のような受信に適した場所に時計を置きます。
2. 時刻モードにします。
🕒 [モードを切り替える](#)
3. 秒針が [RC] の位置を示すまで約 1.5 秒間、B ボタンを押し続けます。

標準電波の受信が始まります。標準電波を受信すると、時計の時刻と日付が合います。



参考

- 受信には約 2 分から約 10 分かかります。最大で約 20 分かかる場合もあります。
- 昼間よりも夜間のほうが標準電波を受信しやすくなります。

受信のご注意

- 電波の受信による時刻合わせができないときは、平均月差±15秒の精度で動きます。
- 電波を受信して時刻合わせをするときに、時計内部の演算処理などにより若干(1秒未満)のずれが発生します。
- 時計が以下の状態のときは、標準電波を受信できません。
 - 充電不足のとき
 - ストップウォッチモードのとき
 - 節電レベル2のとき
 - りゅうずを引いているとき
- 中国は2018年1月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

前回の時刻合わせ結果を確認する

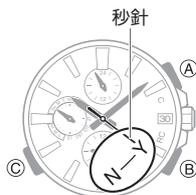
1. 時刻モードにします。
 ① モードを切り替える



2. B ボタンを押します。

秒針が前回の受信結果を示します。何も操作をしないまま9~10秒経過すると現在時刻に戻ります。

[Y(YES)] : 前回の時刻合わせが成功
 [N(NO)] : 前回の時刻合わせが失敗



参考

- 標準電波を受信、またはスマートフォンと接続して時刻を合わせていても、その後手動で時刻や日付を変更した場合は、秒針が[N(NO)]を示します。

病院内、飛行機内で使うとき

病院内や飛行機内など、自動で標準電波を受信したり、スマートフォンと接続しては困るような場合、自動時刻合わせを無効にできません。自動時刻合わせを有効に戻すときも同じ操作です。

1. 時刻モードにします。
 ① モードを切り替える



2. B ボタンを押します。

秒針が前回の受信結果を9~10秒間示します。



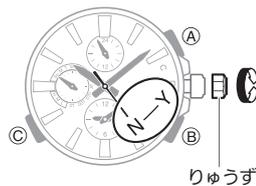
3. 手順2から10秒以内にりゅうずを1段引きます。

●手順2の操作から10秒以上経過したためりゅうずを引く前に秒針が通常の秒運針に戻った場合は、手順2からやり直してください。

4. りゅうずを回して自動時刻合わせを無効にします。

[Y(YES)] : 自動時刻合わせが有効

[N(NO)] : 自動時刻合わせが無効



5. りゅうずを戻します。

参考

- スマートフォンとペアリングしている場合は、OCEANUS Connected で自動時刻合わせを無効にすることもできます。
 ① OCEANUS Connected で自動時刻合わせを無効にする

スマートフォンと一緒に使う (モバイルリンク機能)

時計とスマートフォンを Bluetooth で接続することで、時計の時刻を自動で合わせたり、時計の設定を変更したりできます。

参考

- この機能は、OCEANUS Connected が起動しているときのみ使用できます。
- この章では、時計とスマートフォンを操作します。
 ① : 時計を操作します。
 ② : スマートフォンを操作します。

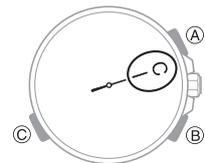
接続

時計とスマートフォンを接続する

ペアリングが完了している時計とスマートフォンを Bluetooth 接続します。

- ペアリングしていないときは、下記を参照し、ペアリングを完了してください。
 ① ③ ペアリングする

1. スマートフォンを、時計の近く(1m以内を推奨)に置きます。
2. ① 秒針が[C]を示していないときに、C ボタンを約4秒間押し続けます。
 秒針が[C]に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。



重要

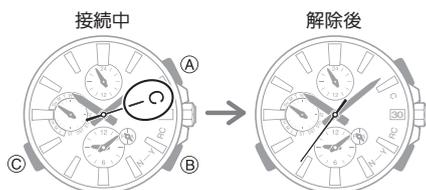
- 時計とスマートフォンを接続できないときは、OCEANUS Connected が終了している可能性があります。スマートフォンのホーム画面で「OCEANUS Connected」アイコンをタップしてアプリを起動してから、時計のCボタンを約4秒間押し続けてください。

参考

- 接続中に一定時間何も操作しないと、自動で接続は解除されます。接続を維持する時間は、OCEANUS Connected の「時計設定」→「接続時間」で、3分、5分、10分から選ぶことができます。

時計とスマートフォンの接続を解除する

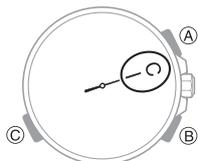
いずれかのボタンを押すと、Bluetooth 接続が解除され秒針が通常の動きに戻ります。



病院内、飛行機内で使うとき

病院内や飛行機内など、自動で標準電波を受信したり、スマートフォンと接続しては困るような場合、自動時刻合わせを無効にできません。自動時刻合わせを有効に戻すときも同じ操作です。

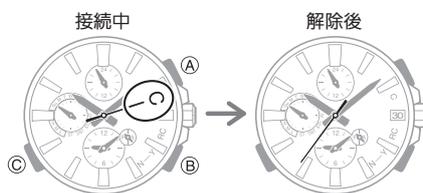
- 「OCEANUS Connected」アイコンをタップします。
- C ボタンを約 4 秒間押し続けます。秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。



- 画面に従って操作して、自動時刻合わせを有効または無効に設定します。

ペアリングを解除する

- 時計とスマートフォンが接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。



- 「OCEANUS Connected」アイコンをタップします。
- 画面に従って操作して、ペアリングを解除します。

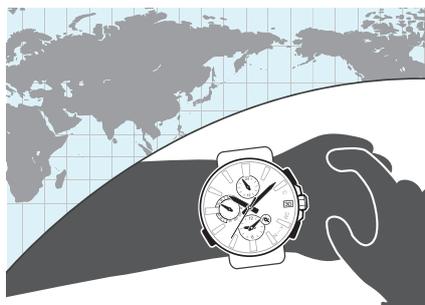
スマートフォンを買い替えたとき

今まで接続したことのないスマートフォンと本機を Bluetooth 接続する場合は、ペアリング操作が必要です。

③ ペアリングする

ワールドタイムを設定する

OCEANUS Connected でワールドタイム都市を設定し、時計にその都市の時刻をセットします。また、設定した都市がサマータイムになると、時計を操作しなくても、時計の時刻が自動でサマータイムに切り替わります。

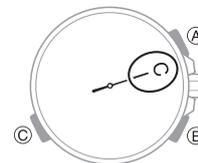


参考

- OCEANUS Connected のワールドタイム都市は約 300 都市あります。

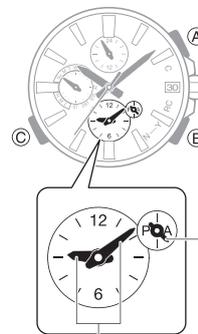
●ワールドタイム都市を設定する

- 「OCEANUS Connected」アイコンをタップします。
- C ボタンを約 4 秒間押し続けます。秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。



- 画面に従って操作して、ワールドタイムを時計に反映させます。

- ワールドタイムの午前、午後は小时針 (24 時間制) の位置で確認できます。

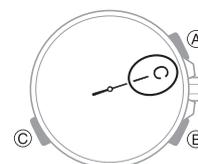


ワールドタイム時分

ワールドタイム24時間制

●サマータイムを設定する

- 「OCEANUS Connected」アイコンをタップします。
- C ボタンを約 4 秒間押し続けます。秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。



- 画面に従って操作して、サマータイムを設定します。

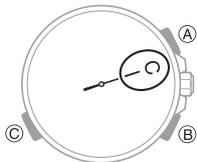
- 「Auto」
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
- 「OFF」
常にスタンダードタイムで表示します。
- 「ON」
常にサマータイムで表示します。

参考

- サマータイム切り替えの設定が「Auto」のときは、自動でスタンダードタイムとサマータイムが切り替わります。サマータイムの切り替えのタイミングごとに時計の時刻を変更する必要はありません。また、サマータイムを導入していない都市でも、「Auto」の設定のまま使えます。
- 時計を操作して手で時刻を合わせた場合は、サマータイムの自動切り替えが解除されます。
- サマータイムの切り替え期間は、OCEANUS Connected で確認できます。

● ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替える

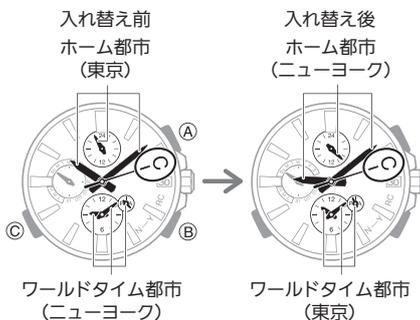
1. 「OCEANUS Connected」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 4 秒間押し続けます。秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。



3. 画面に従って操作して、ホーム都市の時刻とワールドタイムを入れ替えます。

たとえば、ホーム都市が東京、ワールドタイム都市がニューヨークの場合、時刻を入れ替えると以下ようになります。

- 時刻が入れ替わった後数秒間、秒針がワールドタイム都市のタイムゾーンを示します。



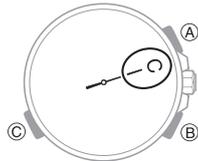
参考

- ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替えた後、24 時間は自動時刻合わせを行いません。

針や日付の位置を補正する

自動時刻合わせをしても針や日付の位置が合っていないときは、OCEANUS Connected を使って針や日付の位置を補正できます。

1. 「OCEANUS Connected」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 4 秒間押し続けます。秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。



3. 画面に従って操作して、針や日付の位置を補正します。

参考

- 針によっては別の針と連動しているため、複数の針を同時に補正する必要があります。

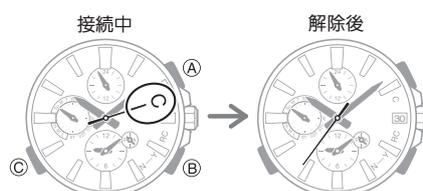
スマートフォンを探す(携帯電話探索機能)

時計の操作で、スマートフォンの音を鳴らして探すことができます。スマートフォンがマナーモードに設定されていても、強制的に音が鳴ります。

重要

- スマートフォンの音を鳴らすことが禁止されている場所では、この機能を使わないでください。
- 大音量が発生しますので、ヘッドホン使用時にこの機能を使わないでください。

1. 時計とスマートフォンが接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。

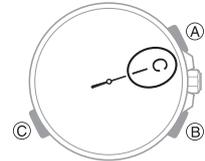


2. C ボタンを約 2 秒間押し続けます。時刻モードになります。

3. 秒針が [C] マークを示すまで約 3.5 秒間、B ボタンを押し続けます。

時計とスマートフォンが接続すると、スマートフォンの音が鳴ります。

- スマートフォンの音が鳴るまで数秒かかります。



4. いずれかのボタンを押して音を止めます。

- 音が鳴り始めてから 30 秒間は、時計のボタン操作で音を止めることができます。

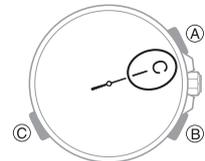
時計の各種機能を設定する

Bluetooth 接続を自動で切断する時間などの時計の設定は、OCEANUS Connected で変更できます。

1. 「OCEANUS Connected」アイコンをタップします。

2. C ボタンを約 4 秒間押し続けます。

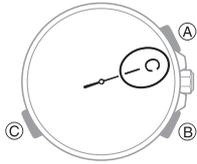
秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。



3. 設定したい内容を選び、画面に従って操作します。

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

1. 「OCEANUS Connected」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 4 秒間押し続けます。
秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。

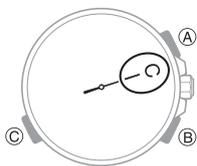


3. 画面に従って操作して、ホーム都市のサマータイム設定を切り替えます。

時計の充電量を確認する

OCEANUS Connected で時計の充電量を確認できます。

1. 「OCEANUS Connected」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 4 秒間押し続けます。
秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。



3. OCEANUS Connected で充電量の表示を確認します。

時刻合わせ(手動)

標準電波を受信できないとき、またはスマートフォンと通信できないときは、次の操作で時計の時刻と日付を合わせます。

ホーム都市のタイムゾーンを設定する

この時計を使用する都市のタイムゾーンを設定します。

重要

- お使いの地域のタイムゾーンに設定していないと、標準電波を受信したときに、時計が正しい時刻を表示しません。

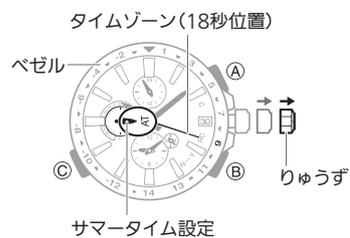
1. りゅうずを 2 段引きます。

秒針が現在設定しているタイムゾーン、モード針はホーム都市のサマータイム設定を示します。

- タイムゾーンは、ベゼルの ▼ (0 秒位置) を時差 ±0 の基準として、前後のタイムゾーンの位置で合わせます。目的のタイムゾーンの位置については、下記をご覧ください。

都市(タイムゾーン)一覧

東京(時差+9 時間)の場合



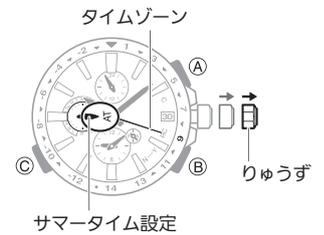
2. りゅうずを回して、タイムゾーンを変更します。
3. りゅうずを元に戻します。

時刻や日付を設定する

1. りゅうずを 2 段引きます。

秒針が現在設定しているタイムゾーンを示します。

- モード針は、ホーム都市のサマータイム設定を示します。



2. C ボタンを約 1 秒間押し続けます。

秒針が 12 時位置に移動し、「分」を設定できる状態になります。

3. りゅうずを回して「分」を合わせます。

4. C ボタンを押します。

時計が小さく動き、「時」を設定できる状態になります。

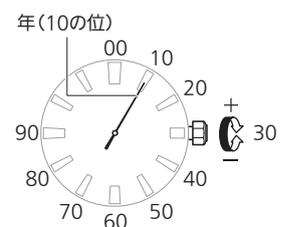
5. りゅうずを回して「時」を合わせます。

6. C ボタンを押します。

「年(10の位)」を設定できる状態になります。

7. りゅうずを回して秒針を「年(10の位)」に合わせます。

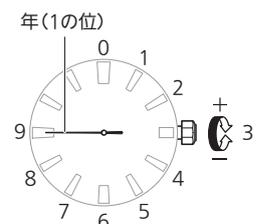
- 年は西暦(20xx)で合わせます。



8. C ボタンを押します。

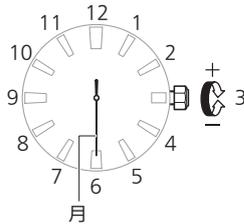
「年(1の位)」を設定できる状態になります。

9. りゅうずを回して秒針を「年(1の位)」に合わせます。



10. C ボタンを押します。

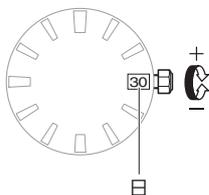
「月」を設定できる状態になります。



11. りゅうずを回して「月」に合わせます。

12. C ボタンを押します。

モード針が小さく動き、「日」を設定できる状態になります。



- 日付を合わせるときは、モード針が繰り返し回転します。

🔗 [針と日付の動き方について](#)

13. りゅうずを回して「日」を合わせます。

14. 時報に合わせてりゅうずを戻します。

参考

- 日付と時刻を合わせても時計が正しい日時を示さない場合は、針や日付の位置を補正してください。

🔗 [OCEANUS Connected で補正する場合](#)

🔗 [時計を操作して補正する場合](#)

サマータイムを設定する(ホーム都市)

時計を使用している地域がサマータイムに移行したときに、時計の時刻をサマータイムに設定できます。

[STD]: 常にスタンダードタイムで表示します。

[DST]: 常にサマータイムで表示します。

重要

- ホーム都市のタイムゾーンを、標準電波を受信できる地域に設定した場合は、サマータイムの設定を[AT] (オート) にすることもできます。サマータイムの設定を[AT] にすると、ホーム都市がサマータイムに移行後初めて標準電波を受信したときに、時計の時刻がサマータイムに切り替わります。また、サマータイム期間が終了したときも、終了後初めて標準電波を受信したときに、スタンダードタイムに戻ります。標準電波を受信できる地域については、以下をご覧ください。

🔗 [都市\(タイムゾーン\)一覧](#)

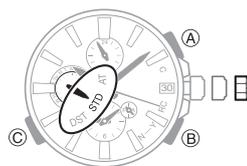
1. りゅうずを 2 段引きます。

秒針が現在設定しているタイムゾーンを示します。

- モード針は、ホーム都市のサマータイム設定を示します。

2. A ボタンを約 1 秒間押し続けます。

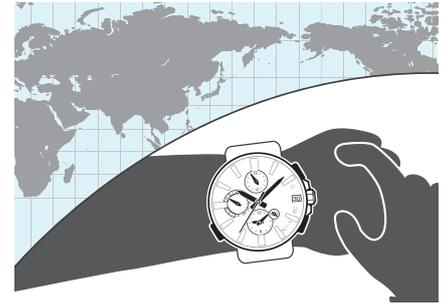
A ボタンを約 1 秒間押し続けるたびに、サマータイムの設定が切り替わります。



3. りゅうずを元に戻します。

デュアルタイム

世界の時刻を知ることができます。



準備

時刻モードにします。

🔗 [モードを切り替える](#)



タイムゾーンを設定する

表示したい都市のタイムゾーンを設定します。

1. りゅうずを 1 段引きます。

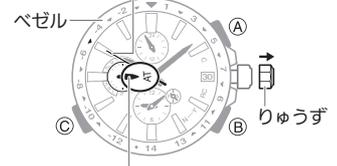
秒針が現在設定しているデュアルタイムのタイムゾーン、モード針はデュアルタイムのサマータイム設定を示します。

- タイムゾーンは、ベゼルの▼(0 秒位置)を時差±0 の基準として、前後のタイムゾーンの位置で合わせます。目的のタイムゾーンの位置については、下記をご覧ください。

🔗 [都市\(タイムゾーン\)一覧](#)

ニューヨーク(時差-5 時間)の場合

タイムゾーン(50 秒位置)

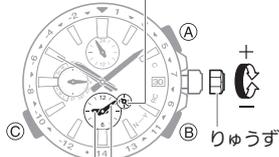


サマータイム設定

2. りゅうずを回してタイムゾーンを変更します。

選んだタイムゾーンの時刻が小時針と小分針で表示されます。

デュアルタイム24時間制



デュアルタイム時分

3. りゅうずを戻します。

サマータイムを設定する(デュアルタイム)

時計を使用している地域がサマータイムに移行したときに、時計の時刻をサマータイムに設定できます。

[STD]:常にスタンダードタイムで表示します。

[DST]:常にサマータイムで表示します。

重要

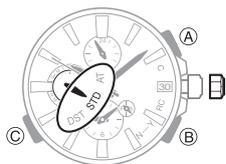
- ホーム都市のタイムゾーンを、標準電波を受信できる地域に設定した場合は、サマータイムの設定を[AT](オート)にすることもできます。サマータイムの設定を[AT]にすると、サマータイム開始または終了後に初めて標準電波を受信したときに、時計の時刻が自動で切り替わります。標準電波を受信できる地域については、以下をご覧ください。
[都市\(タイムゾーン\)一覧](#)

1. りゅうずを1段引きます。

秒針が現在設定しているタイムゾーンを示します。

2. A ボタンを約1秒間押し続けます。

A ボタンを約1秒間押し続けるたびに、サマータイムの設定が切り替わります。



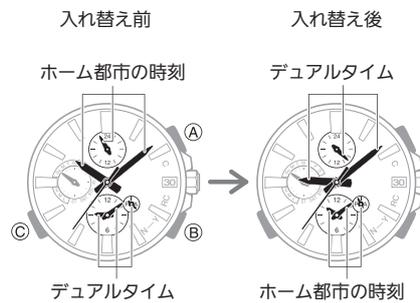
3. りゅうずを元に戻します。

参考

- 都市に[UTC]を選んだ場合、サマータイムの設定を確認したり、切り替えたりすることはできません。

ホーム都市の時刻とデュアルタイムを入れ替える

A ボタンを約3秒間押し続けると、ホーム都市の時刻とデュアルタイムが入れ替わります。



- 操作の結果、日付が変更されるときは、モード針が繰り返し回転します。
[針と日付の動き方について](#)

参考

- 海外に渡航するときに、この機能をお使いいただくと便利です。使い方は下記をご覧ください。
[海外に渡航するときは](#)

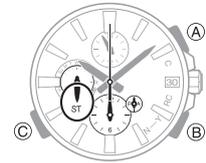
ストップウォッチ

1秒単位で23時間59分59秒(24時間計)まで計測できます。

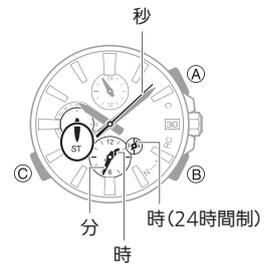
準備

ストップウォッチモードにします。

[モードを切り替える](#)



計測する



1. 以下の操作で計測します。

- (A) スタート
 ↓
 (A) ストップ
 ↓
 (A) 再スタート
 ↓
 (A) ストップ

2. B ボタンを押して、計測をリセットします。

3. C ボタンを押して、時刻モードに戻ります。

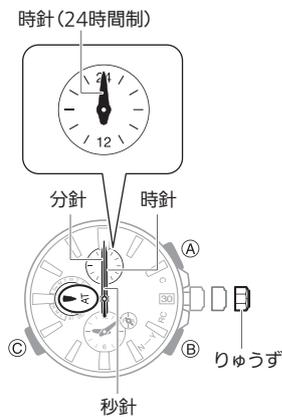
針や日付の補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻や日付の位置が合っていないことがあります。そのようなときは、針や日付の位置を補正します。

- 時針、分針、秒針、時計針 (24 時間制) は、自動で補正されます。

針や日付の位置を補正する

1. りゅうずを 2 段引きます。
2. B ボタンを、秒針が 12 時位置を示すまで、約 5 秒間押し続けます。秒針が 12 時位置に移動したら、指を離してください。時針、分針、秒針、時計針 (24 時間制) の自動補正が始まります。
 - 補正が完了すると、針の位置は以下のようになります。



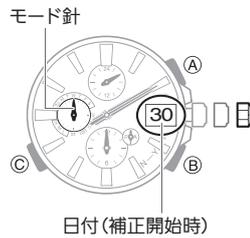
3. C ボタンを押します。
小時計針、小分針および小時計針 (24 時間制) が 12 時位置で停止することを確認します。



4. 小時計針、小分針および小時計針 (24 時間制) が 12 時位置になっていないときは、りゅうずを回して小時計針と小分針を 12 時位置に合わせます。

5. C ボタンを押します。

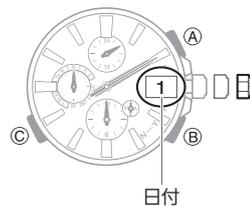
モード針が 12 時位置で停止し、日付が正しく表示されることを確認します。



6. モード針や日付の位置が合っていないときは、りゅうずを回してモード針を 12 時位置、日付を日付窓の中央部に合わせます。
 - りゅうずを回しても、モード針と日付を動かせる範囲には限りがあります。モード針は最大で左右にそれぞれ 180 度回転します。日付の動きはわずかです。
 - モード針と日付の位置合わせができたときは手順 9 に進んでください。位置合わせができないときは手順 7 に進んでください。

7. C ボタンを押します。

日付が「1」で停止することを確認します。



8. 日付が「1」になっていないときは、りゅうずを回して日付を「1」に合わせます。
 - りゅうずを回すとモード針も連動します。モード針は 12 時位置になるように合わせます。
9. りゅうずを戻します。

参考

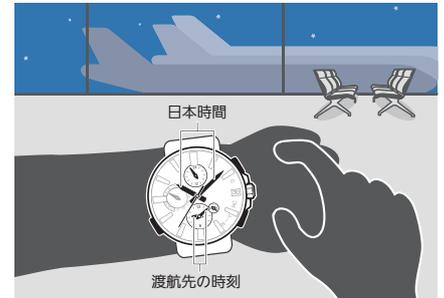
- りゅうずを引いた状態で約 30 分間何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。りゅうずを戻すと、それまでに補正した針は、補正された状態になります。

海外に渡航するときは

こんな使い方をすれば、スムーズに渡航先の日時に変更できます。

● 搭乗前

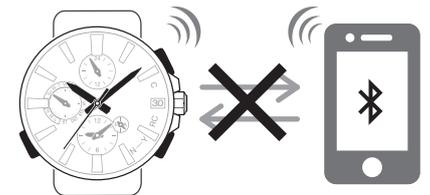
1. 渡航先の時刻をワールドタイム (デュアルタイム) に設定します。



○ OCEANUS Connected で設定する場合

○ 時計を操作して設定する場合

2. 自動時刻合わせを無効にします。

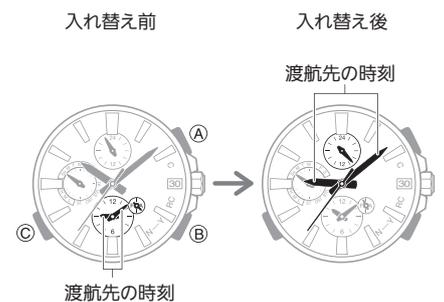


○ OCEANUS Connected で設定する場合

○ 時計を操作して設定する場合

● 到着後

1. 出発地と渡航先の時刻を入れ替えます。



○ OCEANUS Connected で設定する場合

○ 時計を操作して設定する場合

2. 自動時刻合わせを有効にします。

○ OCEANUS Connected で設定する場合

○ 時計を操作して設定する場合

補足

操作説明以外で必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

都市(タイムゾーン)一覧

時差	ベゼル表記	秒針位置	代表的な都市	受信電波
±0*	▼	0	ロンドン、ダブリン	MSF、DCF77
+1*	1	2	パリ、ローマ	
+2*	▼	4	アテネ、カイロ	
+3	3	6	ジェッダ、モスクワ	-
+4	▼	8	ドバイ、アブダビ	-
+5	5	10	カラチ	-
+6	▼	12	ダッカ	-
+7	7	14	バンコク、ジャカルタ	-
+8*	▼	16	ホンコン(香港)、シンガポール	BPC
+9*	9	18	東京、ソウル	JJY
+10	▼	20	シドニー、グアム	-
+11	11	22	ヌーメア、ポートビラ	-
+12	▼	24	ウェリントン、クライストチャーチ	-
+13	13	26	ヌクアロファ	-
+14	14	30	クリスマスアイランド	-
-12	-12	35	ペーカール島	-
-11	▼	38	パゴパゴ	-
-10	-10	40	ホノルル、パペーテ	-
-9	▼	42	アンカレジ、ノーム	-
-8*	-8	44	ロサンゼルス、バンクーバー	WWVB
-7*	▼	46	デンバー、エドモントン	
-6*	-6	48	シカゴ、メキシコシティ	
-5*	▼	50	ニューヨーク、モントリオール	
-4*	-4	52	ハリファックス、カラカス	
-3	▼	54	リオデジャネイロ、ブエノスアイレス	-
-2	-2	56	フェルナンド・デ・ノローニャ	-
-1	▼	58	ブライア	-

* 標準電波を受信できるタイムゾーンです。

● この表は 2018 年 1 月現在のものです。

対応機種

本機と通信できるスマートフォンについてはカシオホームページでご確認いただけます。

https://world.casio.com/os_mobile/wat/

仕様一覧

精度:

電波受信、またはスマートフォンとの通信による時刻合わせができない場合は、平均月差±15秒

基本機能:

時・分・秒、日付(2000~2099年までのフルオートカレンダー)、曜日

デュアルタイム機能:

時・分、24時間制
ホームタイムとの時刻入れ替え機能
サマータイム設定機能

電波受信機能:

標準電波 自動受信・手動受信
受信局自動選択機能(JJY、MSF/DCF77で対応)

受信電波 コールサイン:

JJY(40kHz/60kHz)、BPC(68.5kHz)、
WWVB(60kHz)、MSF(60kHz)、DCF77
(77.5kHz)

受信結果確認機能

スタンダードタイム/サマータイムの自動/
手動切り替え

モバイルリンク機能:

自動時刻修正機能

決まった時刻に自動で時計を合わせる
ワンタッチ時刻修正

手動で接続して時刻を合わせる

携帯電話探索機能

時計操作により、スマートフォンの音を
鳴らす

ホームタイムの都市入れ替え機能

サマータイム自動切り替え機能

スタンダードタイム/サマータイムを自
動で切り替える

針位置補正機能

通信仕様

Bluetooth®

周波数帯域 2400MHz~2480MHz

最大送信電力 0dBm(1mW)

通信距離 ~2m(環境により変化)

ストップウォッチ機能:

計測単位 1秒

計測範囲 23時間59分59秒(24時間)

計測機能 経過時間

その他:

針位置自動補正機能、パワーセービング機
能、バッテリーインジケータ表示

使用電池:

二次電池

持続時間:

約5か月

使用条件

自動時刻合わせ:4回/日

パワーセービング:6時間/日

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

モバイルリンク機能に関する注意事項

● 法律上のご注意

● 本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは、カシオホームページをご覧ください。
<https://world.casio.com/ce/BLE/>

● 各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

● 安全上のご注意

⚠ 警告 無線について

● 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

● 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

● ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

● モバイルリンク機能使用上のご注意

● スマートフォンは、本機の近くに置いてご使用ください。2m以内が目安です。ただし、周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。

● 本機は、他の機器(電気製品、AV機器、OA機器など)の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。

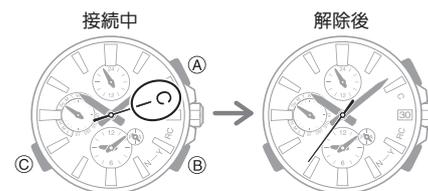
● 本機の Bluetooth は無線 LAN 対応機器と同一の周波数帯(2.4GHz)を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線 LAN 対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

● 本機からの電波を止める必要があるときは秒針が[C]を指しているときは、本機は電波を発信しています。

また、秒針が[C]を指していなくても、1日4回時刻合わせのため、自動で時計とスマートフォンが接続します。

病院内や航空機内など、電波の使用を禁止された区域でお使いになるときは、以下のようにご対応ください。

- 電波の発信を止める
C ボタンを押して Bluetooth 接続を解除してください。



- 自動時刻合わせを無効にする
OCEANUS Connected で時計とスマートフォンを同期しないように設定してください。
☞ OCEANUS Connected で自動時刻合わせを無効にする

無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けています。無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けています。以下の事項は法律で罰せられることがあります。
 - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート(マンションなど)や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 腕時計とスマートフォン等が別々の部屋にある場合(障害物がある場合)

- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

<以下、ARIB(一般社団法人 電波産業会)に準ずる>

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH、FH-OFDM 複合方式以外の"その他の方式"です。また、想定される与干渉距離は約 10m です。

2.4 XX1

- 本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問合せ先」(「取扱説明書」を参照)にお問い合わせください。

商標、登録商標について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GALAXY、GALAXY Note、GALAXY S は Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- Android および Google Play™ は、Google LLC の商標または登録商標です。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

困ったときは

電波受信(標準電波)

Q1 電波を受信できない

時計は充電されていますか？

充電不足の場合は、電波を受信できません。充電量が回復するまで光を当ててください。

↓ **充電する(ソーラー充電)**

時計は時刻モードになっていますか？

時刻モード以外のモードのときは電波を受信できません。時刻モードに戻してください。

↓ **モードを切り替える**

自動時刻合わせは有効になっていますか？

自動時刻合わせを無効にしていると、電波を受信できません。自動時刻合わせを有効にしてください。

● **OCEANUS Connected** で設定する場合

↓ **時計を操作して設定する場合**

ホーム都市は正しく設定されていますか？

ホーム都市が間違っていると、正しい時刻を表示しません。ホーム都市を正しく設定してください。

↓ **ホーム都市のタイムゾーンを設定する**

それでも電波を受信できない

時計が以下の状態のときは、標準電波を受信できません。

- 節電状態レベル 2 のとき
- りゅうずを引いているとき

受信に成功しないときは、時刻や日付を手動で合わせてください。

Q2 電波の受信が成功しない

受信に適した場所ですか？

周辺の環境を確認し、電波を受信しやすい所で受信してください。

↓ **受信に適した場所**

受信中は時計に触れるのを控えていますか？

受信中はできるだけ時計を動かしたり、操作したりしないでください。

送信所から電波が送信されていますか？

送信所から標準電波が送信されていない可能性があります。
独立行政法人情報通信研究機構(NICT)日本標準時グループのホームページ等をご確認ください。

Q3 受信に成功したはずなのに、時刻や日付が合わない

タイムゾーンをお使いの地域に設定していますか？

タイムゾーンをお使いの地域に設定してください。

- **サマータイムを設定する(ホーム都市)**
- **サマータイムを設定する(デュアルタイム)**

針や日付の位置は合っていますか？

針や日付の位置を修正してください。

↓ **針や日付の補正**

それでも日時が合わない

時刻や日付を手動で合わせてください。

● **時刻合わせ(手動)**

ペアリングできない

Q1 時計とスマートフォンが一度も接続(ペアリング)できない

機種は対応していますか？

お使いのスマートフォンと OS が対応機種となっているかご確認ください。対応機種についてはカシオホームページをご覧ください。

↓ https://world.casio.com/os_mobile/wat/

OCEANUS Connected をインストールしましたか？

時計と接続するためには、OCEANUS Connected をスマートフォンにインストールする必要があります。

● **① アプリケーションをインストールする**

Bluetooth は設定しましたか？

スマートフォンの Bluetooth を設定してください。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

iPhone をお使いの方

- 「設定」→「Bluetooth」→ オン

Android をお使いの方

- Bluetooth をオンにしてください。

上記以外

一部のスマートフォンで OCEANUS Connected を使用する場合、スマートフォンで BT Smart の設定を無効にする必要があります。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ホーム画面で「メニュー」→「本体設定」→「Bluetooth」→「メニュー」→「BT Smart 設定」→「無効にする」

再接続できない

Q1 時計とスマートフォンが再接続できない

OCEANUS Connected は起動していますか？

OCEANUS Connected が終了していると、時計とスマートフォンの再接続ができません。スマートフォンのホーム画面で「OCEANUS Connected」アイコンをタップした後、時計の MODE ボタン(C)を約 4 秒間押し続けてください。



スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「OCEANUS Connected」アイコンをタップしてから、時計の MODE ボタン(C)を約 4 秒間押し続けてください。



Q2 スマートフォンの機内モードを有効にしたら接続できなくなった

スマートフォンの機内モードを有効にすると、時計と接続できません。スマートフォンの機内モードを解除してから、スマートフォンのホーム画面で「OCEANUS Connected」アイコンをタップした後、時計の MODE ボタン(C)を約 4 秒間押し続けてください。



Q3 時計の自動時刻合わせを無効にしたら接続できなくなった

時計の自動時刻合わせを有効にしてから、時計の MODE ボタン(C)を約 4 秒間押し続けてください。

- ☞ OCEANUS Connected で設定する場合
- ☞ 時計を操作して設定する場合



Q4 スマートフォンの Bluetooth をオンからオフにしたら接続できなくなった

スマートフォンの Bluetooth をオフからオンにし、ホーム画面で「OCEANUS Connected」アイコンをタップした後、時計の MODE ボタン(C)を約 4 秒間押し続けてください。



Q5 スマートフォンの電源を切ったら接続できなくなった

スマートフォンの電源を入れ、「OCEANUS Connected」アイコンをタップしてから、時計の MODE ボタン(C)を約 4 秒間押し続けてください。



どうしても接続できない場合

Q1 どうしてもスマートフォンと時計を接続できない

スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「OCEANUS Connected」アイコンをタップしてから、時計の MODE ボタン(C)を約 4 秒間押し続けてください。



ペアリングをやり直しましたか？

ペアリングを解除した後、ペアリングをやり直してください。

- ☞ ペアリングを解除する

それでも接続できない場合

以下の手順で時計からペアリング情報を削除した後、再度ペアリングをしてください。

- ① りゅうずを 2 段引きます。
- ② B ボタンを約 10 秒間押し続けます。ペアリング情報が削除されると、秒針が [C] を示します。
- ③ りゅうずを戻します。

スマートフォンの機種変更した場合

Q1 今使っている時計を別のスマートフォンと接続したい

お使いになっている時計と接続したいスマートフォンをペアリングしてください。
☞ スマートフォンを買い替えたとき

Bluetooth 接続による自動時刻修正機能(Time Adjustment)

Q1 どのタイミングで時刻を合わせるのですか？

時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

Q2 自動修正の時刻になっても時刻が合わない

時刻合わせのタイミングが遅れていますか？

都市の時刻を入れ替えたり、手動で時刻を合わせたりすると、それから 24 時間は自動時刻修正が起動しません。これらの操作の後、24 時間経過すると自動時刻修正が機能するようになります。

自動時刻合わせは有効になっていますか？

自動時刻合わせを無効にしていると、時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせを開始しません。自動時刻合わせを有効にしてください。

- ☞ OCEANUS Connected で設定する場合
- ☞ 時計を操作して設定する場合

Q3 正しい時刻が表示されない

スマートフォンが圏外の状態になっているなどでネットワークに接続していない場合は、スマートフォンの時刻が正しくない可能性があります。その場合は、スマートフォンをネットワークに接続して時刻を合わせてください。

針の動きと表示

Q1 現在の表示モードがわからない

モード針の位置で現在のモードを確認できます。モードはCボタンで切り替えることができます。

☞ [モードを切り替える](#)



Q2 秒針が2秒ごとに動いている

充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ [充電する\(ソーラー充電\)](#)

Q3 すべての針が停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ [充電する\(ソーラー充電\)](#)

Q4 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能が解除され、復帰している。
☞ [節電\(パワーセービング機能\)](#)
- 標準電波を受信して、時刻合わせをしている。
☞ [時刻合わせ](#)
- スマートフォンと接続して時刻を修正している。
☞ [スマートフォンに接続して時刻を合わせる](#)

Q5 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードです。回復するまで(約15分間)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

Q6 現在時刻の表示が9時間、3時間15分など区切りのよい時間ですれている

都市の設定が正しくありません。正しく設定してください。

☞ [ホーム都市のタイムゾーンを設定する](#)

Q7 現在時刻の表示が1時間や30分など区切りのよい時間ですれている

サマータイム設定が正しくありません。正しく設定してください。

☞ [ホーム都市のタイムゾーンを設定する](#)

Q8 針や日付の位置が合っていない

強い磁気や衝撃の影響で針や日付の位置が合っていないことがあります。針や日付の位置を補正してください。

☞ [針や日付の位置を補正する](#)

- 手で針や日付の位置を補正したい場合は、以下をご覧ください。

☞ [針や日付の補正](#)

りゅうずの操作

Q1 りゅうずを回しても何も操作できない

りゅうずを引いたまま2分以上(針や日付の位置を補正している場合は約30分間)何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

☞ [りゅうずを使う](#)